



ロータリーの未来は
あなたの手の中に

国際ロータリー会長
ジョン・ケニー



国際ロータリー第 2750 地区多摩中グループ
東京国分寺ロータリークラブ

Rotary International

週報

— 仲間を増やして活気のあるクラブ作り —

2009～2010 年度 会長 田 中 昇

Vol44 No.25 平成 22 年 1 月 19 日

第2123回 例会 報告 — 1 月 19 日 —

本日の司会

高橋正昭 SAA 副委員長

ロータリーソング

『奉仕の理想』

ソングリーダー: 岡田 会員

お客様紹介

田 中 会 長

○岡部 直士 様 (東京立川 RC 会長)

○長井 守 様 (東京立川 RC 幹事)

○豊泉 幸夫 様 (東京立川 RC 創立 50 周年副実行委員長)

○樋口 薫 様

ニコニコボックス

井野田親睦副委員長

立川 RC 創立 50 周年実行委員会様: 本日は、創立 50 周年記念式典のご案内にお邪魔しました。3 月 26 日には大勢の皆様のご出席をお待ち申し上げております。宜しくお願い致します。田中会長・須藤幹事: ①新年合同例会に多数の会員の皆様に御出席いただきありがとうございました。②立川 RC の岡部会長、長井幹事、創立 50 周年副実行委員長豊泉さんの御来訪を歓迎いたします。③内田会員、本日の卓話宜しくお願いします。木口会員: 新年おめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。中島会員: おかげさまで国分寺市医師会主催の市民講演会は、盛会に終了しました。皆様方のご支援に感謝してニコニコします。小川会員: さる 1 月 9 日、10 人目の曾孫が誕生しました。孫 20 人、ヒコ 10 人となり喜びで一杯です。

1 月の記念ニコニコ

井野田親睦副委員長

小椋会員・長尾会員



会長の時間

田 中 会 長

ご来賓に立川 RC の会長岡部直士様、幹事の長井守様、創立 50 周年副実行委員長豊泉幸夫様のご来訪を頂きました。立川 RC は今年 3 月 26 日に創立 50 周年を迎えるに当たっての PR の意味を兼ねての来訪



です。豊泉さんは私と幹事時代の同期でして職業はゴルフ練習場を経営しているのでゴルフの腕は狭山ゴルフのシングルです。またお会いするのが久しぶりでした。内田会員による新幹線の歴史に付いての卓話を頂きました。アメリカに輸出が決まったとも聞き及んでいます。日本のこれからの一番の輸出産業のトップになる重要な産業の一つでしょう。樋口会員が退会の挨拶にお見えになりました一日も早い復帰をお待ちしています。

来賓挨拶

○東京立川 RC 会長 岡部様

東京立川 RC の創立 50 周年記念式典を 3 月 26 日にパレスホテル立川にて開催する予定になっております。是非皆さんにもご参加して頂きたくご案内いたします。



○東京立川 RC 創立 50 周年記念式典

副実行委員長 豊泉様

10 年前、田中会長と同じ時期に共に幹事をやったことがありお世話になりました。今日は、東京立川 RC の創立 50 周年記念式典を開催するに当たり、PR を兼ねて出席させて頂きました。配付した資料のように、3 月 26 日 (金) 15 時から登録開始、記念式典は 16 時からであります。記念フォーラムとして横浜国立大名誉教授の宮脇様の講演、ソプラノ歌手の雨谷様の独唱なども予定しております。是非、一人でも多くの皆さんの参加をお願い致します。

○退会挨拶 樋口 薫様

この度、残念ながら、退会することになりました。会員としては短い間でしたが、ロータリーで学んだこと、ロータリーの精神を引き継ぎ、今後、役立てて行きたいと思っています。今、振り返って見ますと入会するのが早過ぎたかなと思っています。仕事の方が厳しくなり、退会せざるを得なくなりました。どうも、いろいろお世話になり有難うございました。



幹事報告

須藤 幹事

- ①小会会員よりお腹の手術をするので、2月の1ヶ月間免除申請が出ました。理事会で承認されました。
- ②小金井RCの例会場が1月21日より3月25日の間変更になります。詳細は事務局に掲載します。
- ③事務局の菊田マズミさんが1月31日で退職いたします。新規事務職員横山徳子さんの採用が理事会で承認されました。4月より勤務していただきます。菊田さんの中継ぎとして、花岡節子さんを臨時事務局員として採用いたします。花岡さんの勤務日は2月15日までは木・金曜日のみ15日以降は通常の勤務になります。



委員会報告

出席委員会

高橋宏出席委員長

会員数 50名 免除 9名
メーキャップ済み 2名
欠席 5名 出席率 88.8 %
<前々回の修正> なし



次年度幹事報告

桑原次年度幹事

本日、13時30分から第1回次年度理事会を開催しますので次年度理事の皆さんご出席下さい。



親睦委員会

飯沼委員長

親睦旅行の予定ですが、伊勢と鳥羽への旅行を3月7～8日に行います。細かい日程は後日お知らせします。



来月15日(月)には国立白うめRCとの合同例会を開催します。詳しくは後日、ご案内します。

卓 話

内田 雅夫 会員

「日本の高速鉄道／新幹線」

世界で初めての高速鉄道である東海新幹線が開業してから45年が経過した。高速鉄道進展の大きな波は日本から欧州、東アジアへと拡大し、現在はさらに全世界へと拡大しつつあり、高速鉄道先進国の過激な売込み競争の様相を呈している。これまでの新幹線の歴史を振り返りながら、その技術的特徴を紹介する。昭和30年代の高度経済成長期の鉄道輸送力逼迫の解消策として東海道新幹線が建設され、その後、昭和50年代半ばまでに山陽・東北・上越の各新幹線が建設された。JR移行後は在来線の高速化が積極的に展開された後、現在は東北・北陸・九州の各新幹線の延伸部分が開業を待つ状況にある。新幹線の営業最高速度は主として騒音・振動の規制により300km/hに抑えられているが、東北新幹線では320km/h運転が予定されている。新幹線の最大の特徴は大量高密度かつ安全で安定した輸送にある。現在の輸送量は新幹線全体で800億人キロであるが、その3/4は東海道・山陽新幹線が占める。



新幹線の現在の技術的トピックは、エネルギー効率向上と騒音・振動対策ならびに自然災害に対する安全対策である。新幹線車両は徹底した軽量化と空気抵抗低減を図り電力消費量の大幅な低減を実現した。騒音・振動低減のための技術開発も間断なく継続されている。自然災害のうちでは地震対策が急務であり、土木建造物の強化や車両脱線防止対策が進められている。

世界で初めて200km/h領域の高速運転を実現した日本の新幹線技術は、過去の多くの経験と新たな知見と弛まぬ努力により作り上げられてきたものであるが、その中には多くの国の技術成果も生かされている。これからの高速鉄道の発展には競争だけでなく協力・協調も重要な要素である。

国際ロータリー 第2750地区 多摩中グループ

東京国分寺ロータリークラブ

会長 田中 昇 幹事 須藤 新太郎
会報委員長 小向 将介

事務所・例会場 東京都国分寺市南町 3-20-3 JR東京西駅ビル開発8階
Tel.042-322-6480

編集・印刷 (株)スプリングフィールド 国分寺市本町 3-8-12 Tel.042-320-5601
URL: <http://kokubunjirc.exceed-net.co.jp>